

# 修二会 お水取りと花会式

聖地に受け継がれし伝灯の法会

楠 淳證

〔編〕

四六判・並製・一一八頁・本体一、三〇〇円＋税

龍谷大学アジア仏教文化研究センター  
文化講演会シリーズ ③

2020年1月刊行



お水取り、花会式として奈良で親しまれる修二会は仏道実践のための悔過の法要として大切に受け継がれてきました。その知られざる世界を東大寺の狭川管長、薬師寺の加藤管主、仏教学者の楠氏がやさしく解き明かします。

【本書の内容】

奈良時代から続く不退の行法——東大寺修二会の世界——

華嚴宗管長・第二三三世東大寺別当 狭川 普文

- 一 はじめに
- 二 東大寺と法会
- 三 二月堂修二会の成立とその勤修
- 四 むすび

花会式——薬師寺の伝灯法会——

法相宗大本山薬師寺管主 加藤 朝胤

- 一 はじめに
- 二 花会式のお供え
- 三 悔過ということ
- 四 花会式(修二会)での悔過
- 五 お写経も行
- 六 むすび

南都の法会——仏に成る道——

龍谷大学文学部教授 楠 淳證

- 一 はじめに
- 二 悔過の意義
- 三 論義の意義
- 四 説戒の意義
- 五 講会と講式
- 六 講式に見られる貞慶の諸信仰
- 七 臨終正念と臨終来迎
- 八 むすび

【著者略歴】

- 狭川普文 (さがわ ふもん) ——1951年、奈良県生まれ。63年、得度。75年、龍谷大学文学研究科修士課程仏教学専攻修了。75年、四度加行満行。77年、修二会新入、以来2015年まで30回参籠。2010年、東大寺執事長。16年5月、華嚴宗管長・第222世東大寺別当就任。19年5月、再任されて現在、華嚴宗管長・第223世東大寺別当就任。東大寺塔頭北林院住職。
- 加藤朝胤 (かとう ちやういん) ——1949年、愛知県生まれ。23歳で入山し、高田好胤和上に師事。日本大学法学部卒業。龍谷大学文学部仏教学科卒業。法相宗薬師寺教務執事、財務執事、執事長、法相宗宗務長を歴任。現在、薬師寺管主・まほろば塾塾長、薬師寺宝物管理研究所主任研究員。
- 楠 淳證 (くすのき じゅんしょう) (編者) ——1956年、兵庫県生まれ。龍谷大学文学部仏教学科卒業、龍谷大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得満期退学、龍谷大学専任講師、助教授を経て、現在、龍谷大学文学部教授、アジア仏教文化研究センター長。専門は仏教学、特に唯識教学。

注文書	
(書店名)	
ご担当	様 冊
ISBN978-4-8318-6432-1 C0015	法藏館 一、三〇〇円＋税
楠 淳證 編	修二会 お水取りと花会式
お名前	ご住所
お電話	

ご注文は FAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

仏 教